

松本医院受診前（17歳～44歳）の経緯。

松本医院受診後（45歳）の経過記録。

「治療に専念して潰瘍性大腸炎完治を目指して」

匿名希望 45 歳

2016年5月29日

私が、松本先生のところに受診するようになり、1年あまりになりました。それまでの西洋医学の治療に限界を感じ、漢方での治療効果を期待して通院しておりますが、おかげさまで下痢、下血はほとんど無くなりました。まだ完治には至っておりませんが、松本先生より中間報告の要請がございましたので、発症から松本先生を受診するまでの経緯と、受診から今までの経過についてご報告させていただきます。これから松本医院様の受診をお考えの方々のご参考になれば幸いです。

29年前（17歳）

4月より下痢、下血の症状が出る。当時高校2年生で、通学にも支障を来していたが、夏休みまで我慢し、7月に潰瘍性大腸炎と診断され、近くの総合病院に24日間入院した。絶食と点滴（ステロイド？）とサラゾピリン内服をする。当時は発症の原因が判りませんでした。おそらく志望校の高校受験に失敗したこと、進学した高校で校内ルールにより、部活動を禁止されていた（中学時代プラスバンドをしており、継続したかった）ことがストレスになり、発症したのではと思います。

27年前（19歳）

大学に進学、1人暮らしを始めました。症状は時々出ましたが、すぐに治まった為、特に通院していませんでした。今思えば、大学時代は特にストレスを感じる状況ではなかった為、症状も軽くてすんでいたと思います。

23年前（23歳）

製薬会社に就職（営業職）、実家より通勤していました。60キロほど離れたエリアを担当しましたが、社会人になり今までなかったストレスを感じるようになり、下痢、下血が再発したため、担当先の開業医（消化器内科）に通院し、

サラゾピリン、ラックビーの内服でコントロールしていました。

19年前（27歳）

自宅のある市内に担当エリアが変更になり、新しい担当先の開業医（消化器内科）に変更して通院を開始、引き続きサラゾピリン内服でした。その後、時々症状が悪化することもありましたが、その際はサラゾピリン（ペンタサ）増量、プレドニゾン内服でコントロールしていました。このころから、ステロイドを使用することが増えてきたと思います。ステロイドは副作用の面から注腸を勧められ使用したこともありましたが、残念ながら刺激もありうまく腸に滞まらなかった為、結局内服（1日20mg）で対応していました。

8年前（38歳）

それまでのペンタサ、プレドニゾンではコントロールが困難になり、担当先の総合病院にお願いし、久々の入院（3日間）、初めてL-CAPを計10回行うことで寛解になりました。

6年前（40歳）

転勤で群馬県に転居、近所の開業医（消化器外科）に通院し、アサコール、プレドニン、ラックビー、タケプロンOD内服でコントロールしていました。しかし、環境が変わったこと、発病して20年以上経過と長くなってきたことから、自分の感覚として以前に比べてコントロールが難しくなってきたと感じるようになりました。

4年前（42歳）

下痢、下血の症状悪化にて、市内の総合病院を紹介され、14日間入院、G-CAP（10回）で寛解しました。その後、症状が落ち着いたので、紹介元の開業医に再び通院することとなりました。

2年前（44歳）

再び症状悪化、以前入院した市内の総合病院に再度紹介されました。改めてG-CAPを行いました。コントロール出来ないため、主治医との相談で生物学的製剤の使用を勧められ、2014年11月よりヒュミラを開始したところ、すぐに寛解しました。

1年前（45歳）

2014年の12月からしばらくは症状が無く、普通の生活が送れていましたが、2015年の2月に突然伯父が亡くなり、そのころから症状が悪化し始め、3月に通院先の総合病院の主治医に相談したところ、ヒュミラが効かなくなっているとのことでした。今後の治療の選択肢が限られるとの返事で、しば

らく様子を見るとのことでした。この時点で自分としては、厚生労働省が出しているガイドラインの内容から、おそらく今後の選択肢はレミケードか、手術しかないと思いました。手術の場合、切り取られた大腸は元に戻らないので、それは何としても避けたいと思いました。暗い気持ちのなか、週末にインターネットを検索していたところ、たまたま松本医院のホームページを見つけました。先生の理論と患者さんの手記を読み、ここなら何とかなるかもしれないと思い、早速親にも相談し、4月に松本医院を受診することを決めました。

受診1ヶ月目

2015年4月3日 有休を取り、新幹線を乗り継ぎ、松本医院に向かいました。ホームページに初回は家族も同席するようにとのことでしたので、京都駅で父と合流し、昼頃に松本医院に到着しました。皆様の手記にありますように、入り口を入りますと漢方の独特のにおいと、外観とは違う古風な雰囲気を感じました。先に鍼灸を済ませ、その後、松本先生の診察になりました。何でここに来たのかと、病気の原因は何かを聞かれました。父にも同じ質問がありましたが、事前に松本医院のホームページを読んでおくようにこちらからお願いしていたこともあり、先生の理論を認識していた為、2人とも先生に握手して頂きました。診察の最後に、誰が治すのかを聞かれ、「自分です」と答えた時、再度握手していただきました。

早速、実家に戻り、その日から漢方（2種類）とお灸を始めました。漢方は皆様の手記にあるように、最初は経験したことのない苦さ（断痢湯）で飲みにくかったですが、すぐに慣れました。2日に1回煎じるのは正直手間が掛かりましたが、他の患者さんの手記で“パックを使う（松本医院さんでも販売されています）と楽”との記載があり、それを使うと確かに煎じた後の処理が楽になりました。お灸も普段は一人暮らしなので、背中の中のツボが出来ないのが難でしたが、続けました。漢方風呂は、自宅が賃貸のアパートなので、着色が気になり、漬物用のビニール（松本医院で販売されています）を使い週1回入りました。鍼灸もインターネットで近所の鍼灸院を見つけ、週2回通いました。ただ、リバウンドは激しく、下痢、下血は1日20回以上で、外出先や自宅でもトイレに間に合わなくなることが度々ありました。

受診2ヶ月目

5月1日に2回目の受診。松本先生からは、CRPが高く、リンパ球がステロイドのせいとかなり少ないので、まだまだ時間がかかるとのこと。また、肩が痛くなることがあると訴えるとヘルペスのせいとのことで、アシクロビルを新たに処方されました。引き続き漢方と鍼灸、漢方風呂を継続しました。

この頃は仕事をしながらの治療でしたが、4月と同様、下痢、下血が1日20回以上で、外出先でトイレに間に合わなくなることが度々あり、仕事に支障を来すことから、上司に相談し、下旬からしばらく仕事を休むことにし、実家

に戻りました。夜も、トイレに3～4回起きることがあり、睡眠不足でつらかったです。

3ヶ月目

引き続き漢方と鍼灸、漢方風呂を継続しました。鍼灸院は実家近くの鍼灸院を探し、週2回通いました。下痢、下血は変化無く、1日20回以上ありました。肩の痛みは、アシクロビルのおかげで、だいぶ楽になりましたが、トイレに間に合わなくなる恐怖から、外出は鍼灸院に行く時だけでした。便も若干形が出てきている気配はありましたが、6月下旬には元に戻ってしまいました。

4ヶ月目

下痢、下血は相変わらずでしたが、7月初旬のある日、急に右ひざが痛くなり、歩くのも困難になりました。幸いにも3日ほどで痛みは治まりましたが、おそらくヘルペスの仕業だったと思います。7月14日に3回目の受診の際にも、先生に確認しましたが、ヘルペスのせいだろうとのことでした。アシクロビルは痛みがひどい場合は1日4回14錠まで服用するようにとのことで、増量されました。後日血液検査の結果を電話で確認しましたが、CRP、リンパ球ともにほとんど変化無く、まだまだ時間がかかると思いました。

5ヶ月目

8月初旬になり、再度若干便が固まりつつある気配になりましたが、下血は相変わらず続いていました。8月中旬には、今年初めて両親と温泉への1泊旅行に行くこともできました。鍼灸院はこの頃には週1回でしたが、8月下旬に行った際、施術中に便意を催してしまったことがあり、それ以降通うのをやめてしまいました。また、8月中旬にあるテレビ番組で、R-1乳酸菌が免疫を高めると紹介していたことから、R-1ヨーグルトを摂ることを始めました。(現在も継続中です)仕事はそれまで有休で対応していましたが、ほとんど消化してしまい、来月から休職するかどうか迷いましたが、現状とても仕事に復帰できる状況にはないと自己判断で休職し、治療に専念することを選択しました。

6ヶ月目

下痢、下血は回数が若干減りましたが、まだ1日15回前後ありました。また以前よりあったヘルペスの痛みが、肩から右ひじと右二の腕に移りました。9月8日に4回目の受診。先生からCRPが高く、リンパ球が低い、ヘルペスの数値も高いとのことでした。他の患者さんの手記では6ヶ月くらいで症状が良くなるとの報告が多く、当初自分もそうなるのではとの期待がありましたが、やはり自分は罹病期間が長く、リンパ球の数値も低いので時間がかかるのは仕方ないと思いました。仕事も休職し焦りもありましたが、この際治るまで頑張

るしかないと改めて決意しました。松本先生に受診の度、「仕事はあきらめろ」、「まじめになるな」、「ひとの幸せを自分の幸せに」とのお言葉をいただきました。なかなか自分では理解出来ないとの思いがあり、インターネット通販（書店に行けないので）で参考になりそうな本を買い、読むようになりました。

7ヶ月目

下痢の状態は若干軟便ぎみになり、改善の傾向になりましたが、下血は相変わらずで、在宅中でもトイレに間に合わなくなる事もありました。特に睡眠中、明け方にそうなることが多かったです。下血については、松本先生にTELで相談したところ、クラススイッチするまで続くとのことのお返事でしたので、それまで頑張るしかないと気持ちを新たにしました。

8ヶ月目

下痢（泥状）、下血は引き続き1日15回前後で、特に下血はひどく、先月同様明け方にトイレに間に合わないことが度々ありました。11月下旬には、突然くびが痛くなり3日ほど悩まされました。（おそらくヘルペスの影響だったと思います。）

9ヶ月目

下痢（泥状）、下血は引き続き1日15回前後でした。さすがに、何か変えないといけないと思い、漢方風呂を週1回（本来2回入るべきところですが、すみません）から週2回に変更しました。12月15日に5回目の受診。相変わらずCRPが高く、リンパ球が低いことから、改めて漢方、お灸、漢方風呂を徹底するよう決意しました。また、受診時に鍼灸の先生にお灸のタイミングを相談したところ1日の中でいつでもいいとのことのお返事でしたので、午前中の朝食1時間後に変更しました。この頃には漠然とですが、何とか1年以内には改善の目途がたてばとの思いでした。

10ヶ月目

下痢（泥状）、下血は引き続き1日15回前後でした。変更したことですが、年末に松本医院のホームページで紹介されました発芽玄米を始めたことと、1月中旬のあるテレビ番組で腸内フローラについての特集があり、善玉菌を増やすことを期待して、朝納豆、昼ブルガリアヨーグルトドリンク、夜R-1ヨーグルトを毎日とることを始めました。食事面の変更で何か変化が出ればとの思いでした。

11ヶ月目

2月中旬になり、少し変化が出てきました。便が軟便になり、かなり固まりに近い状態の時もありました。回数も若干減り、1日10回前後になりました。

ヘルペスの痛みについては、引き続き右ひじ付近の痛みが続いていました。ようやく少し希望が持てる状況になってきたなとうれしくなりました。

12ヶ月目

3月16日に6回目の受診。その際、松本先生より、顔色が良くなったとお言葉をいただきました。自分としても状況が好転してきていることを実感しました。下痢、下血は3月下旬になり、便がほぼ固まりで出る時が多くなり、下血も自分の目では確認しない日が多くなりました。

13ヶ月目

これまで、通院時以外ほとんど外出しない状況でしたが、週1～2回短時間ですが、外出出来るようになりました。便の回数も、1日5回前後になり、休職中である仕事への復帰の意欲もわいてきました。何とか来月には復帰の目途がたつのではとの思いが強くなってきました。ただ、いまだにクラススイッチの証拠となる、便秘もアトピーも無い為、まだ油断は出来ないとの思いもありました。

14ヶ月目

体調は引き続きよくなり、便の回数は、1日3～4回に減少しました。5月10日に7回目の受診。その際、松本先生より初めて中間報告の打診をされました。翌週の電話にて、CRP、リンパ球が改善してきているとのことで、改めて中間報告の依頼をされました。ヘルペスの痛みは、引き続き右ひじにあるので、完治まで継続して頑張りたいと思います。

おわりに

昨年4月に初めて松本医院を受診して以来、14ヶ月弱経過しましたが、何とか完治への道筋が見えてきました。それまでは、潰瘍性大腸炎は17歳の発症以来、完治しない病気と言われ、私もそれを信じてきましたが、たまたま松本医院のホームページにたどり着き、実は完治できる病気であると認識を改めることが出来ました。基本的には、自分が行ったことは上記のように漢方（2種類）の服用、アシクロビルの服用、毎日のお灸、漢方風呂でした。また、今年1月より始めた腸内フローラの改善を期待しての善玉菌の積極的摂取（納豆、ブルガリアヨーグルト、R-1ヨーグルト）も私には効果的だったのではないかと思います。これらのことが、免疫を上げ続ける事につながり、最終的には松本先生のおっしゃる「自然後天的免疫寛容」につながるのではないかと思います。

ただ、これらのことが継続出来たのは、仕事を休職できたことと、私の両親の協力が得られたことが大きかったと思います。改めて会社の上司、同僚、両親には感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

現在、松本医院の治療を検討されている方、迷われている方もいらっしゃると思いますが、是非、松本医院の受診をおすすめします。私が考えるプラス面は、西洋医学の免疫を抑える治療をやめることによって副作用（特にステロイド）が無くなることです。精神的にも一生服薬を続けなければいけないストレスから解放される可能性があることも大きいと思います。ただマイナス面は、上記のとおり個人差はありますが、リバウンドを経験すること、改善までにそれなりに時間が掛かること、費用が掛かること（私の場合、月約8万）です。

最後に、私がここまで来られたのは、松本先生をはじめ、看護師さん、スタッフの皆さん、鍼灸師の皆さん、調剤薬局の皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。完治までまだしばらくお世話になるとは思いますが、引き続き何卒宜しく願い申し上げます。

	2015.4.3	2015.5.1	2015.7.14	2015.9.8	2015.12.15
CRP	0.73	0.51	1.12	2.01	1.7
血沈	26	30	53	27	53
リンパ球	30.0	37.9	22	14.5	13
VZV	7.3	7.7	7.5	7.1	

	2016.3.16	2016.5.10
CRP	0.63	0.13
血沈	43	19
リンパ球	19.6	28.6
VZV	10.2	